

と雑木（高木）が共存することはありえず、引き続きヤマザクラ並木の保存・復活という方針のもと、生育環境の改善を進めるべきとの意見を頂いている。

(3) その他、住民からの意見について

樹木の伐採により、景観・サクラの生育環境・日照不足・落ち葉被害の改善、また、日当たりが良くなったことによる防犯効果への期待など、本事業に対し、肯定的な意見が多い。

一方で少数ではあるが、雑木を切ってまで名勝小金井サクラを復活させることへの異論や、もう少し樹木を残すべきという意見や、生物多様性の観点から事業に反対などの否定的意見もある。

各住民の立場・居住場所等により様々な意見がある中で、全体としては、平成22年度に実施した本事業について、様々な環境が改善されたという意見が多く、肯定的に受け止められている。

7 結論

以上の状況から、モデル区間の整備については、多様な意見がある中で全体として肯定的に受け止められており、今年度以降も昨年度同様に、被圧樹木の伐採及び苗木の補植を進めていくことが妥当である。

一方で、否定的意見に対しては、名勝指定理由、小金井サクラの特徴をPRする（市・教育庁）、ケヤキ等を伐採した後、萌芽更新させ、再び巨木化する前に剪定等により植生管理を行うことにより、可能な限り史跡の保全・ヤマザクラの保護と緑との調和を図る（水道局）、ケヤキ等の伐採後、サクラ並木の再生とともに、多様性に富んだ草堤の生態系の再生を目指している（小金井市）、ことなどをPRしていく。

なお、今後、モデル区間整備を進めるにあたっては、引き続き都と市が協働し、名勝の保存・復活という本施策を多くの住民に御理解頂けるよう努めていくことが重要である。具体的には、市報への事業紹介記事の掲載、現地看板の設置などによる事前周知の徹底、また、住民説明会の開催や問い合わせに対する丁寧な対応を行っていく。

小金井公園前～関野橋(150m)

左岸(五日市街道沿い)				右岸(上水桜通り沿い)			
毎木調査No	樹種	幹数	樹高	毎木調査No	樹種	幹数	樹高
178	サクラ	1	10	300	コナラ	2	20
179	コナラ	3	20	301	エゴノキ	4	9
180	サクラ	1	12	302	クヌギ	1	20
181	ケヤキ	2	20	303	サクラ	3	7
182	サクラ	1	9	304	ケヤキ	1	15
183	ケヤキ	1	20	305	エゴノキ	1	8
184	コナラ	2	6	306	エゴノキ	3	8
185	サクラ	1	9	307	サクラ	1	6.5
186	サクラ	1	9	308	クヌギ	1	20
187	ムクノキ	1	15	309	エゴノキ	3	13
188	ハンノキ	1	12	310	サクラ	1	6
				311	クヌギ	1	20
190	クルミ	1	11	312	エノキ	2	20
191	ケヤキ	1	8	313	サクラ	2	9
				314	ケヤキ	1	18
193	コナラ	1	4.5	315	サクラ	1	6
194	サクラ	1	10	316	ケヤキ	2	20
195	サクラ	1	10	317	エゴノキ	2	6
196	クワ	3	12	318	クワ	3	9
197	サクラ	1	10	319	ケヤキ	1	20
198	ケヤキ	1	20	320	サクラ	2	9
199	サクラ	1	10	321	ケヤキ	2	20
200	クヌギ	2	12	322	エゴノキ	1	7
201	サクラ	2	8.5	323	ケヤキ	1	20
202	ケヤキ	1	14	324	サクラ	1	8
				325	ケヤキ	1	20
204	クワ	1	11	326	エゴノキ	3	11
205	サクラ	4	12	327	サクラ	1	12
206	クヌギ	1	20	328	エゴノキ	2	8
207	コナラ	3	20	329	エゴノキ	2	9
208	ケヤキ	1	15	330	エゴノキ	1	6
209	ケヤキ	3	20	331	エゴノキ	2	10
210	サクラ	3	6	332	エゴノキ	2	9
211	ケヤキ	1	20	333	サクラ	1	12
212	サクラ	3	6	334	クワ	1	7
213	ケヤキ	2	20	335	クワ	1	12
214	クワ	1	12	336	ケヤキ	1	20
215	ケヤキ	3	12	337	ケヤキ	1	15
				338	ケヤキ	1	15
217	ケヤキ	2	12	339	サクラ	1	8
218	クヌギ	1	20	340	エゴノキ	4	7
219	サクラ	1	9.5	341	サクラ	1	6
220	ケヤキ	1	20	342	エゴノキ	2	7
221	ケヤキ	2	15	343	ケヤキ	2	20
222	ケヤキ	8	18	344	ケヤキ	1	20
223	サクラ	1	12	345	コナラ	1	20
224	クワ	2	6	346	サクラ	1	13
225	ケヤキ	1	20	347	サクラ	1	13
226	ムクノキ	1	7	348	エゴノキ	2	9
227	サクラ	2	11	349	サクラ	1	6
228	ケヤキ	1	25	350	エゴノキ	2	7
				351	サクラ	1	11
230	ケヤキ	2	25	352	サクラ	1	10
231	サクラ	1	9	353	エゴノキ	1	12
232	コナラ	1	18	354	クワ	3	11
233	サクラ	1	10	355	サクラ	1	10
234	ヌルデ	1	11	356	クワ	1	12
235	クワ	1	12	357	ケヤキ	1	20
236	サクラ	1	8	358	サクラ	1	11
237	クワ	1	9	359	ケヤキ	1	20
				360	ケヤキ	1	20
239	サクラ	1	10				
240	ケヤキ	1	20				
241	ケヤキ	6	20				
242	ケヤキ	3	20				
243	サクラ	1	9				
244	サクラ	4	11				
245	エノキ	1	18				
246	ケヤキ	1	20				
247	サクラ	5	9				

凡例		
	周辺木(伐採済)	55
	周辺木(伐採対象外)	29
	既存サクラ	41

(欠番は除去済みの枯損木1、シヨロ5)

平成22年度整備に対する住民の意見

平成22年度に実施したモデル整備事業に対する住民意見は、整備後の状況について肯定的な意見が多い結果となった。

(別添「平成22年度モデル区間試行整備に関する近隣住民のアンケート結果について」(小金井市教育委員会)参照)

肯定的意見としては、整備前と比べ、玉川上水沿いの景観、サクラの生育環境、日照、落葉被害、防犯効果などの点が改善され良くなった、あるいは今後良くなることを期待しているというものである。また、伐採量については、現状で良い、あるいはもっと伐るべきという意見が多かった。

一方で、反対的意见としては、樹木の伐採に伴う周辺道路の騒音・排ガスによる悪影響への懸念や、雑木を伐採させてまで、サクラ並木を復活させる必要はないという意見もあった。

総括すると、平成22年度整備に対する住民意見としては、全体として肯定的に受け止められていると判断できる。

否定的な見解に対しては、樹木伐採後、萌芽更新や植生管理を行うことで、可能な限り史跡の保全・名勝の保護と緑との調和を図っていくなど、本事業の趣旨を理解していただけるよう、住民説明会等を通じPRに努めていく。

小金井(サクラ)モデル整備事業区域の新規植栽サクラ苗木について

平成22年度に実施した国指定名勝小金井(サクラ)樹勢調査において、モデル整備事業区域に新たに植栽した苗木について調査を行なったところ、樹木医の見解は以下のとおりであった。

調査期間：平成23年2月21日～25日

調査者：神庭正則(樹木医)

【調査方法】

名勝小金井(サクラ)の全域にわたるサクラを目視により、主に枝の伸長量、枯れ枝及び新芽の状況等から樹勢を判断すると共に、幹の病害(腐朽等)や虫害の状況を観察。

【新規植栽苗木の調査結果】

平成22年度に実施したモデル整備事業区間においては、ヤマザクラを被圧しているケヤキ等の伐採によりサクラの生育環境が大幅に改善している。

新たに植栽(補植)されたヤマザクラは26本で、左岸では管理番号380番から402番までの間に15本、右岸では管理番号655番から664番までの間に11本(いずれも無番号)であるが、生育状況は良好である。

今回の補植は、水道局のフェンス内において行われており、現在のヤマザクラに見られる道路方向への根の生育範囲の確保や交通障害となる部分の成長の困難性が解消され、ヤマザクラの生育に必要な環境が確保されていると考えられる。

以上

伐採前後の状況

別紙7

新小金井橋～関野橋間（小金井市関野町1丁目地先）

作業前

ケヤキなどの雑木が鬱蒼としている状況



平成22年11月1日

作業後

補植場所提供のため、雑木を伐採



平成22年11月26日

サクラ補植後

開花時（教育庁が2月中旬にサクラを補植）



平成23年4月11日

新緑時



平成23年6月3日